月次報告書（2008年11月分）

フィッシング情報届出状況

2008 年 12 月 20 日

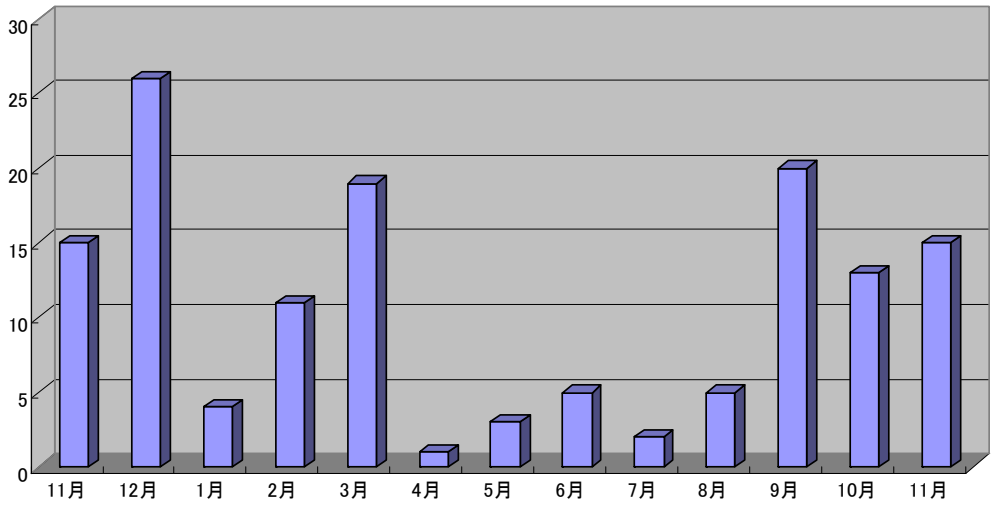
目次

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

・ **フィッシングメール届出件数**： 15 件

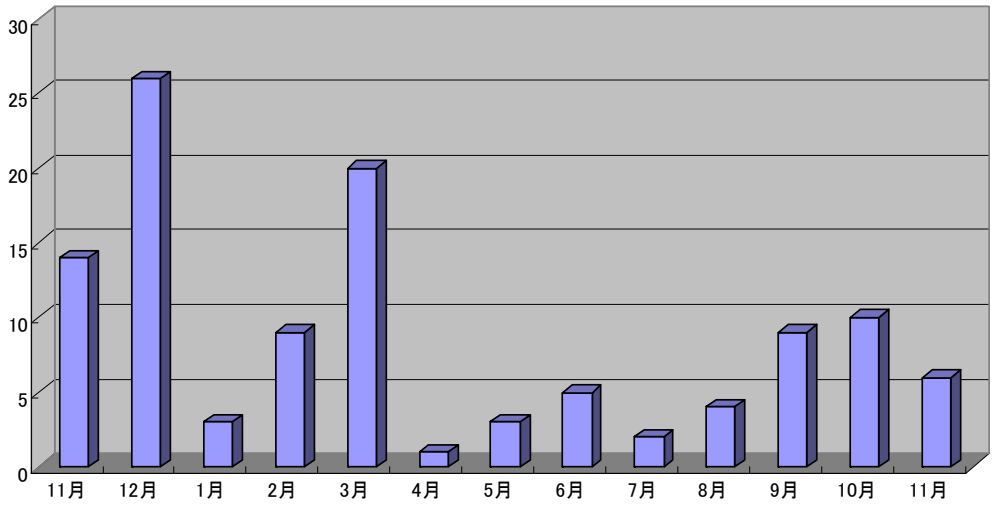
2008 年 11 月度におけるフィッシング情報の届出件数は、前月度より 2 件増加し 15 件となりました。過去 1 年間の平均を上回っています。



フィッシング届出情報の件数（2007年11月～2008年11月）

・ **フィッシングメールの件数**： 6 件

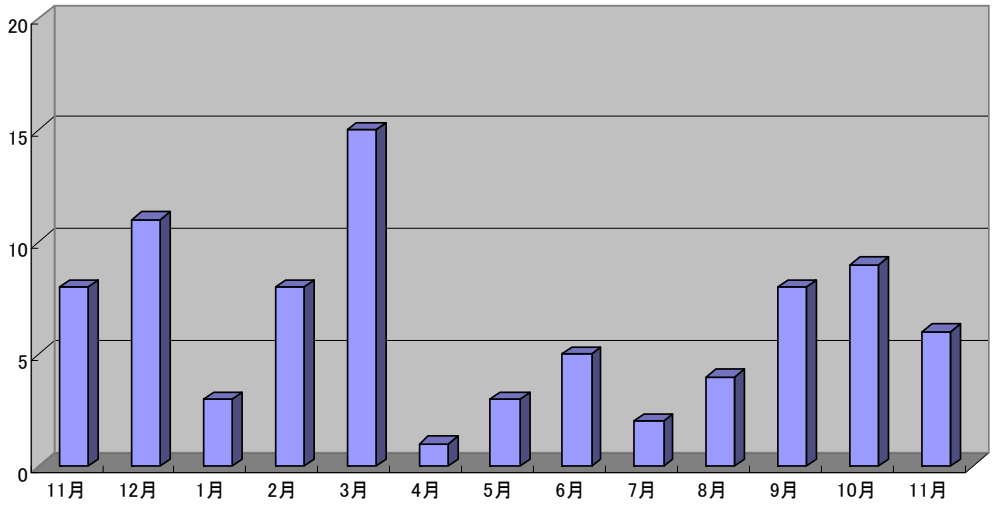
2008 年 11 月度に報告されたフィッシングメールの件数は、前月度より 4 件減少し 6 件となりました。過去 1 年間の平均を若干下回っています。



フィッシングメールの件数（2007年11月～2008年11月）

・ **フィッシングサイトの件数**： 6 件

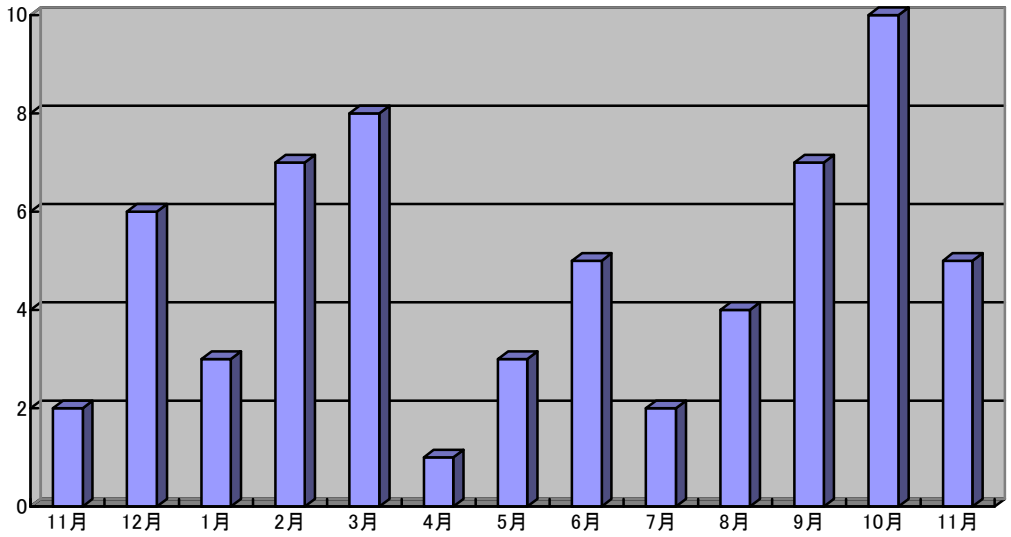
2008 年 11 月度に報告されたフィッシングサイトの件数は、前月度より 3 件減少し 6 件となりました。過去 1 年間の平均とほぼ同じです。



フィッシングサイトの件数（2007年11月～2008年11月）

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 5 件

2008 年 11 月度にブランド名を悪用された企業の件数は、前月度より 5 件減少し 5 件となりました。

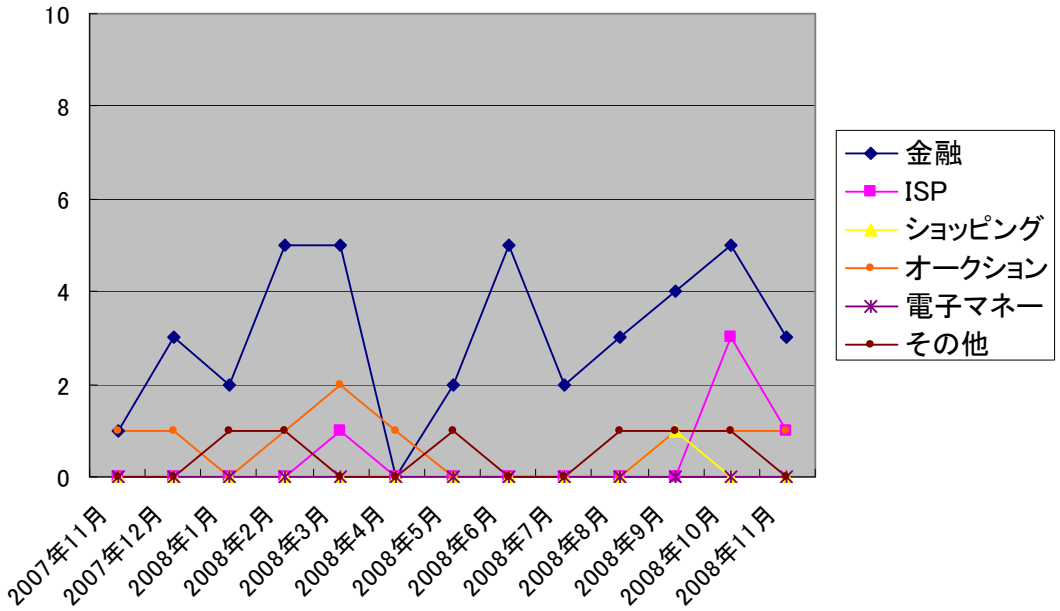


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数（2007年11月～2008年11月）

・ **もっともフィッシングに利用される WEB サイトが多かった国**： アメリカ（2 件）、日本（2 件）、ロシア（1 件）

1.2. 業種別の状況

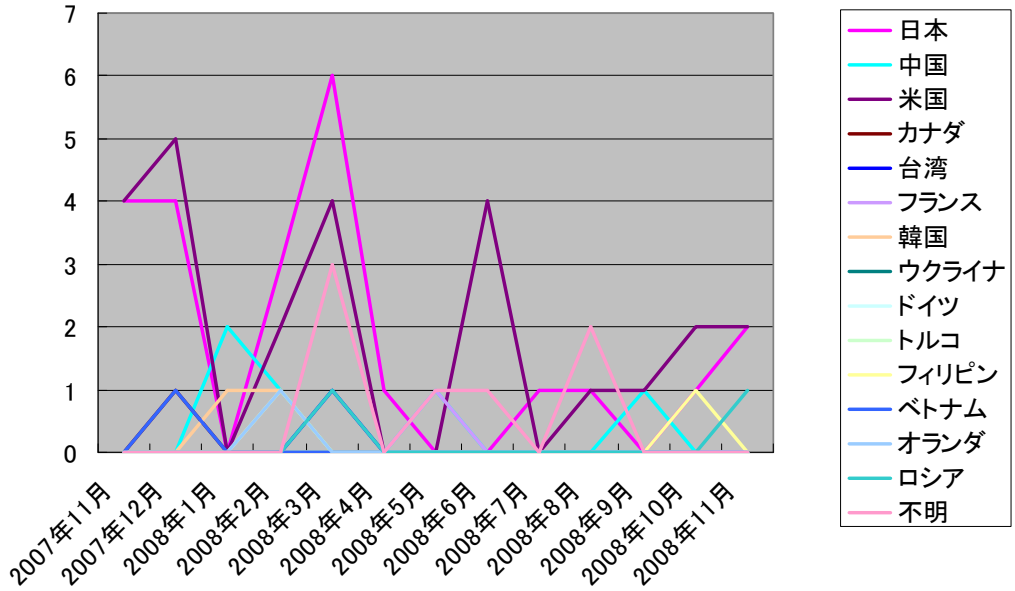
2008 年 11 月度に標的となった業種は、金融が 3 件、ISP が 1 件、オークションが 1 件でした。



業種別の状況（2007年11月～2008年11月）

1.3. フィッシングサイトのホスト国

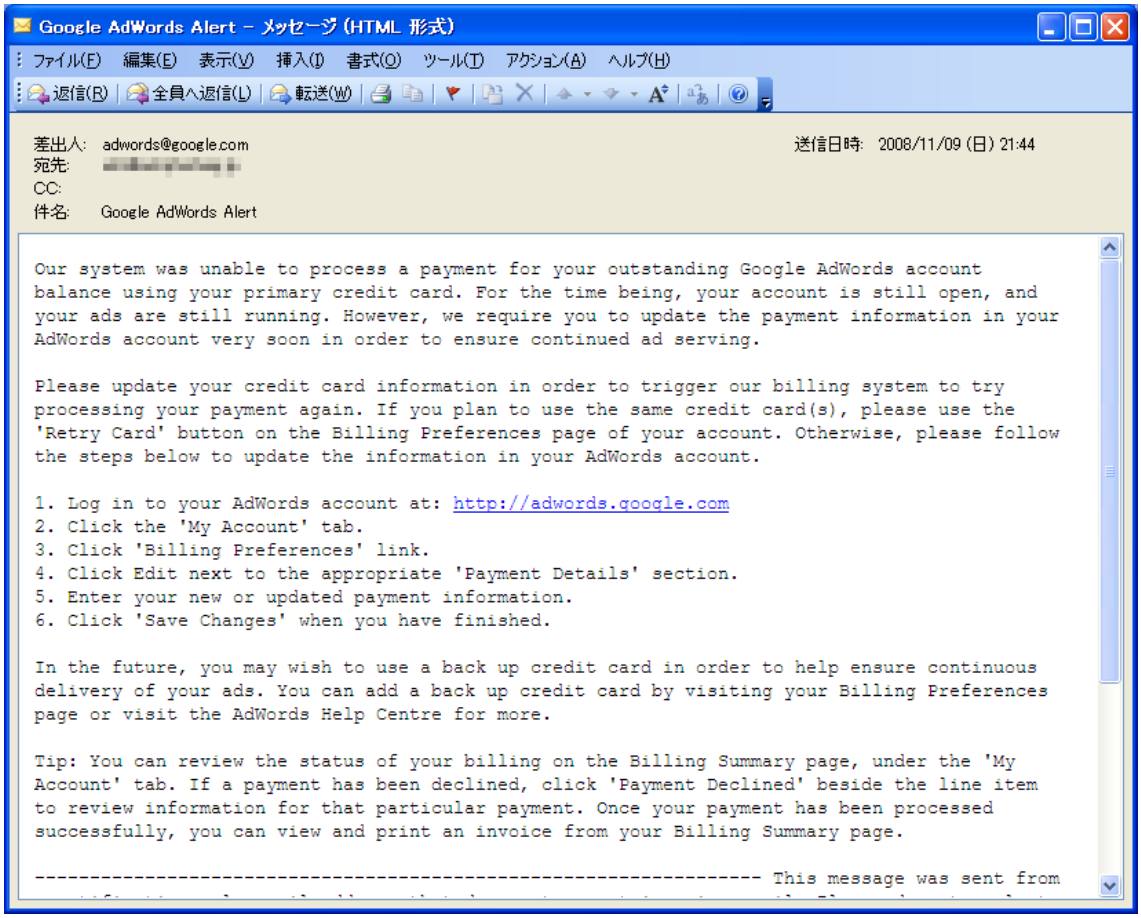
2008 年 11 月度に報告されたフィッシングサイトは、アメリカで 2 件、日本で 2 件、ロシアで 1 件ホスティングされていました。



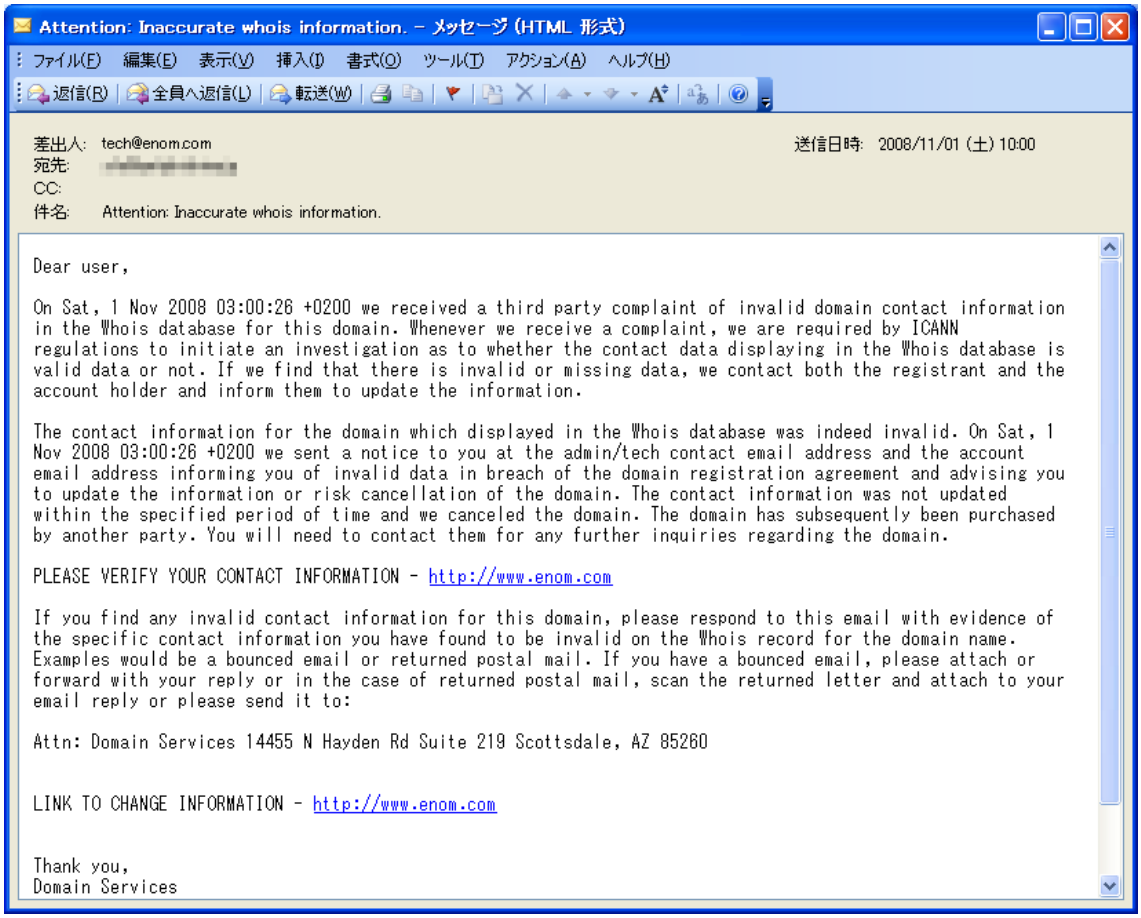
フィッシングサイトのホスト国(2007年11月～2008年11月)

1.4. フィッシングメールの動向

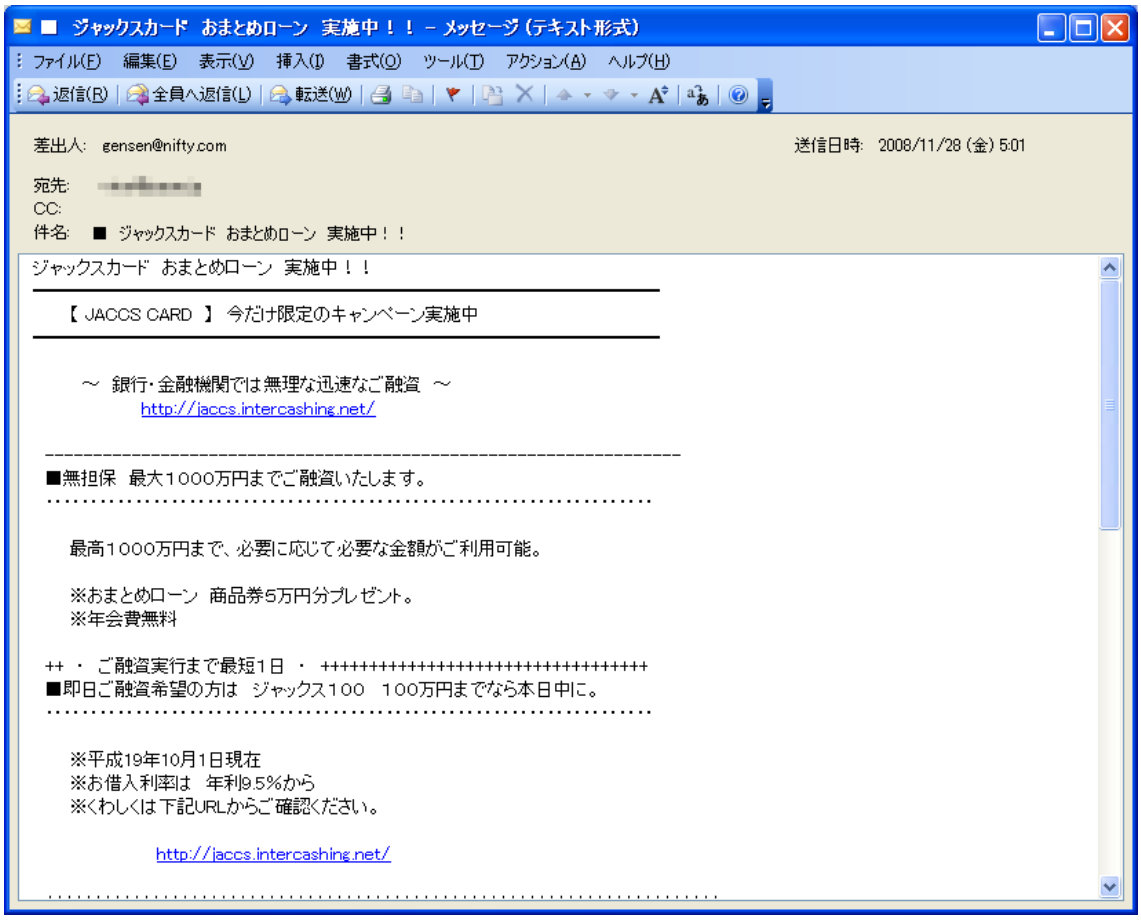
「Google AdWords」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「adwords@google.com」、件名は「Google AdWords Alert」で、英語で書かれた HTML 形式のメールになっています。メールは、「Google Adwords」の支払いプロセスが実行できないなどとして、クレジットカード情報入力の偽サイトへ誘導しようとします。



先月に引き続き、「Enom.com」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「tech@enom.com」、件名は「Attention Inaccurate whois information.」で、英語で書かれたHTML 形式のメールになっています。メールは、ドメインの連絡先情報が無効であるという苦情を受けたため、ICANN の規則によって調査を開始しなければならないとし、登録情報の更新のためとして偽サイトへ誘導しようとします。

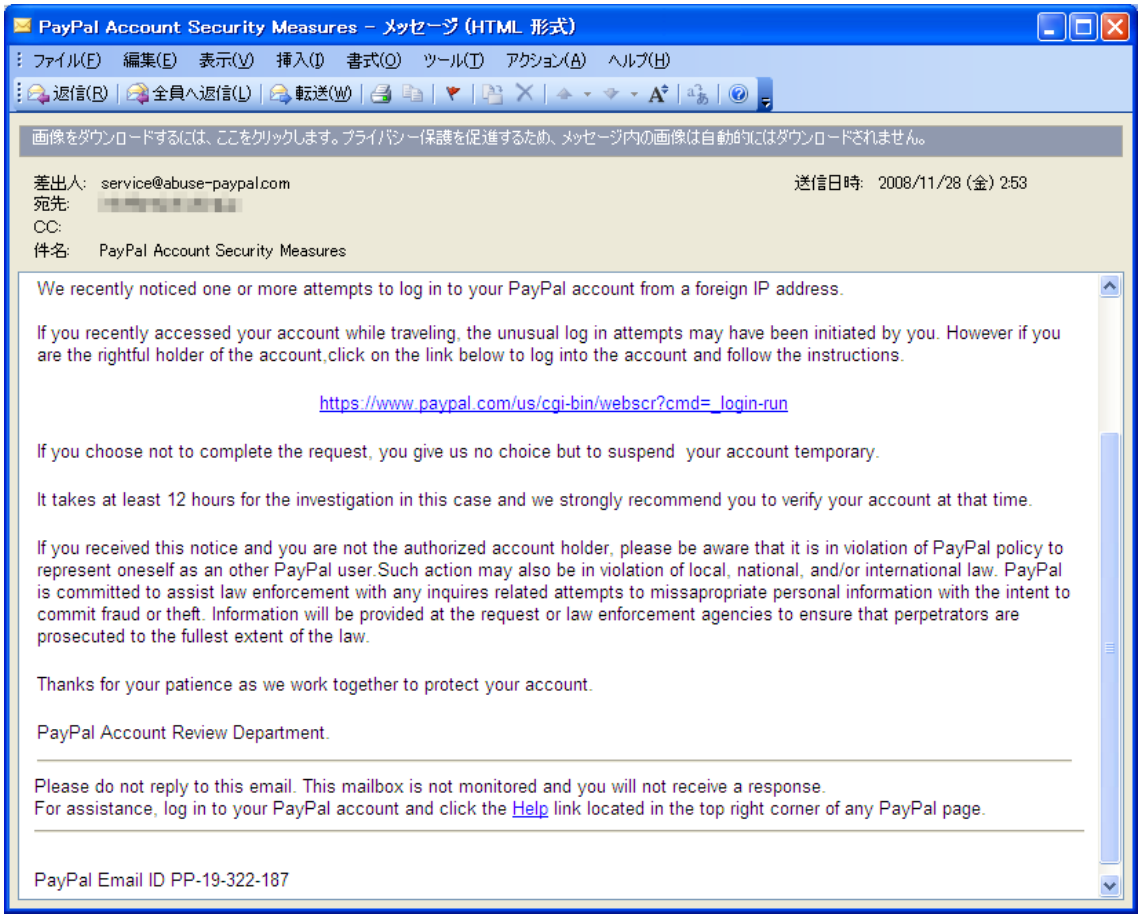


今月新たに、「ジャックス」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「gensen@nifty.com」、件名は「■　ジャックスカード　おまとめローン　実施中！！」で、日本語で書かれたテキスト形式のメールになっています。メールは、キャッシング詐欺サイトを宣伝し、個人情報を入力させる偽サイトへ誘導しようとします。

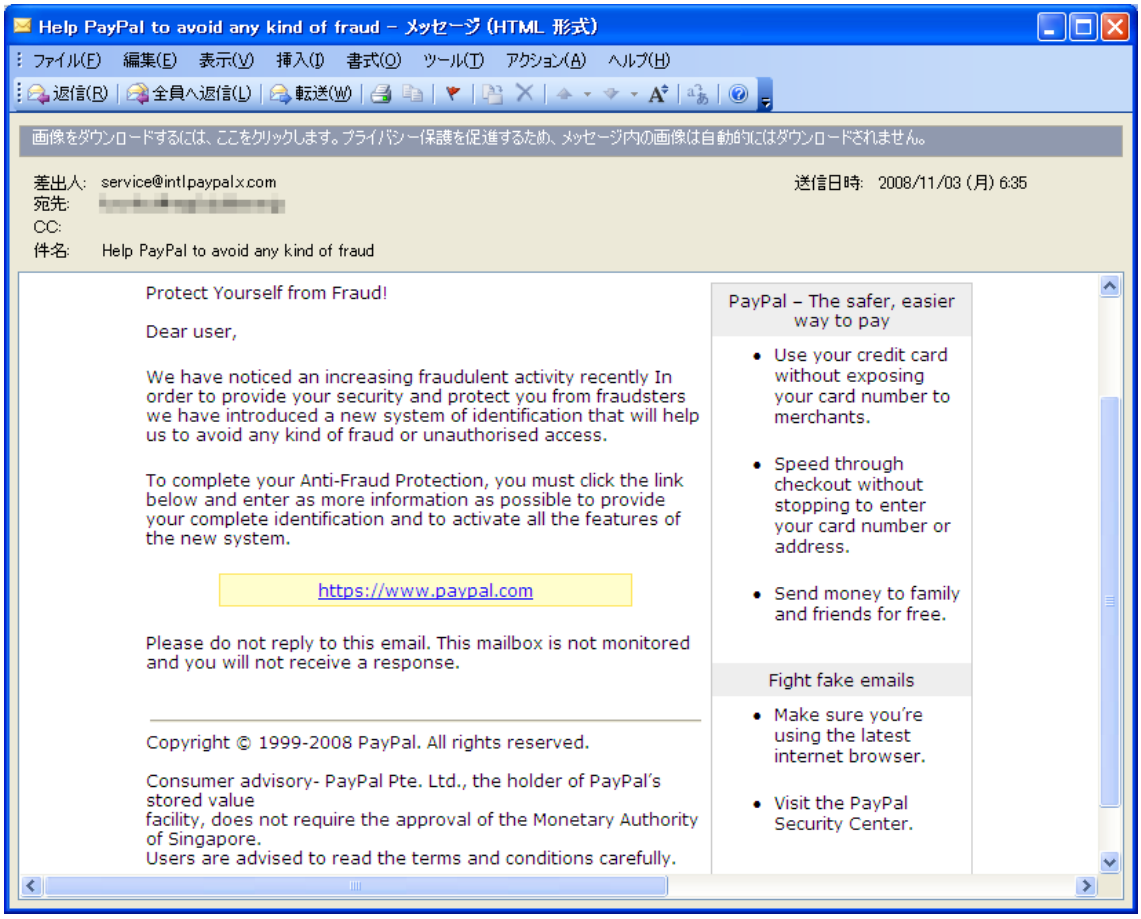


「オリコ」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「gen5454@nifty.com」、件名は「■　オリコグループのネット専用キャッシング」で、日本語で書かれたテキスト形式のメールになっています。メールは、キャッシング詐欺サイトを宣伝し、個人情報を入力させる偽サイトへ誘導しようとします。

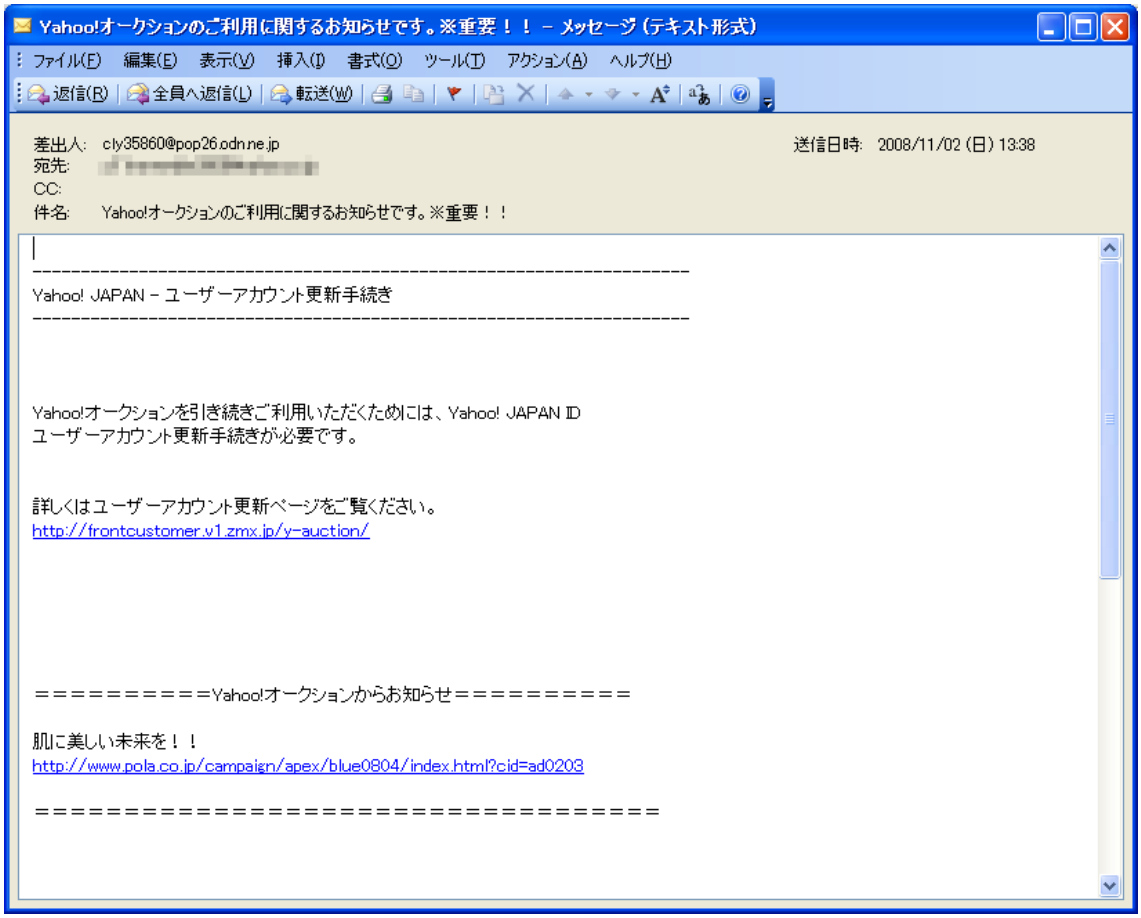
先月に引き続き、「PayPal」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「service@abuse-paypal.com」、件名は「PayPal Account Security Measures」で、英語で書かれた HTML 形式のメールになっています。メールは、ユーザの「PayPal」口座に外国からログインがあり、ユーザが正規の利用者か確認するためとして口座情報の入力偽サイトへ誘導しようとします。



先月に引き続き、「Paypal」をかたるフィッシングメールが確認されました。差出人は「service@intl.paypal.x.com」、件名は「Help PayPal to avoid any kind of fraud」で、英語で書かれた HTML 形式のメールになっています。メールは、近年のフィッシング詐欺の増加に伴い、「PayPal」に新規のセキュリティシステム導入が予定されており、システムの有効化のため登録作業が必要だとして偽サイトへ誘導しようとします。

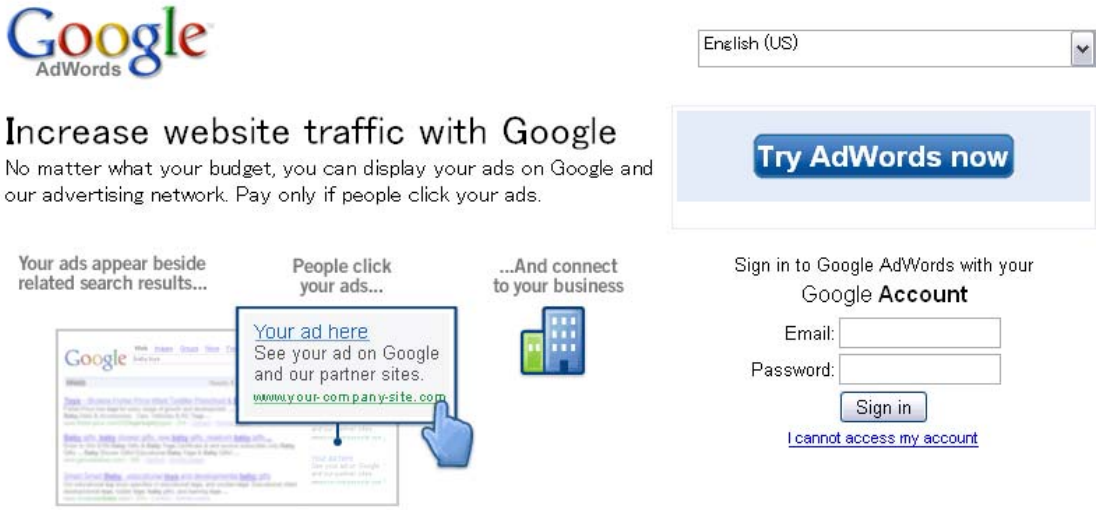


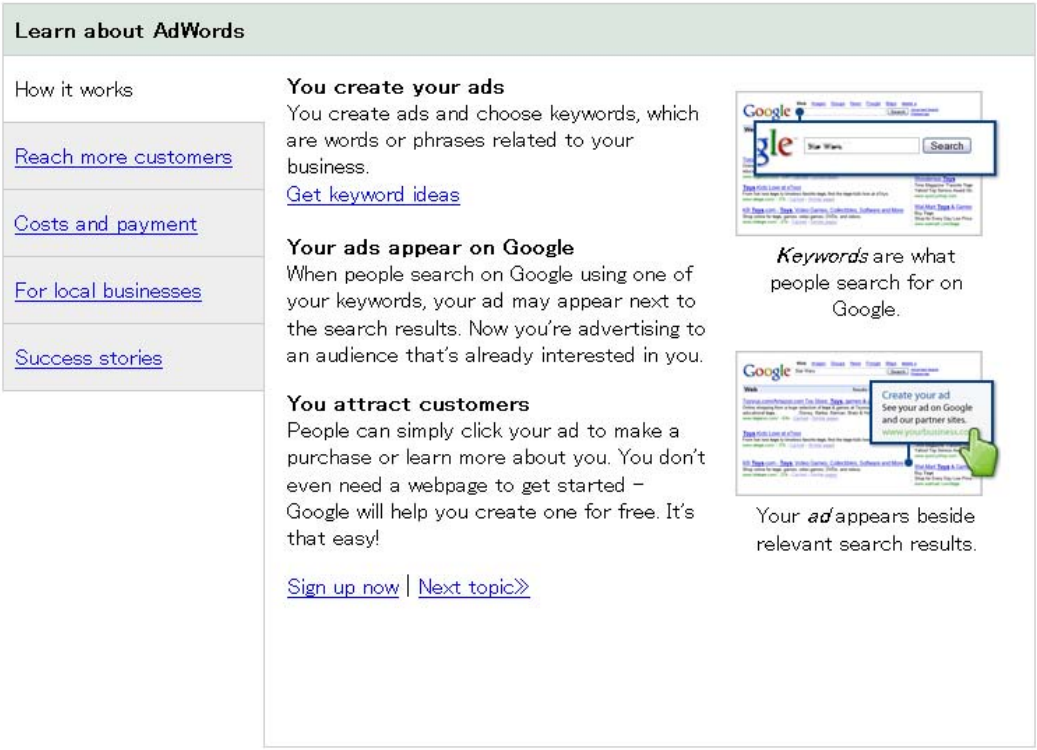
先月に引き続き、「Yahoo! オークション」をかたるフィッシングメールが確認されました。先月出回っていたフィッシングメールと文面、書式が似ており差出人は「cly35860@pop26.odn.ne.jp」、件名は「Yahoo!オークションのご利用に関するお知らせです。※重要！！」で、日本語で書かれたテキスト形式のメールになっています。メールは、Yahoo! オークションを引き続き利用するために Yahoo! JAPAN ID ユーザーアカウント更新手続きが必要だとして偽サイトに誘導しようとします。



1.5. フィッシングサイトの動向

「Google Adwords」をかたるフィッシングサイトは、正規のログインサイトを装い Google アカウントの登録メールアドレス、パスワードを盗み出そうとします。サイトはアメリカのサーバでホスティングされていました。





「Enom.com」をかたるフィッシングサイトは、正規の Enom.com サイトを装いアカウントの登録 ID、パスワードを盗み出そうとします。サイトはアメリカのサーバにホスティングされていました。

「ジャックス」をかたるフィッシングサイトは、融資の自動診断としてメールアドレス、名前、携帯電話番号などを盗み出そうとします。サイトは日本のサーバにホスティングされていました。

参考情報）

【ご注意】弊社名および弊社と紛らわしい名を名乗る団体について（ジャックス）

http://www.jaccs.co.jp/information/attent_ruiji.html

「オリコ」をかたるフィッシングサイトは、融資のお試し診断としてメールアドレス、名前、携帯電話番号などを盗み出そうとします。サイトは日本のサーバにホスティングされていました。

参考情報）
当社名称及び当社の類似名称を名乗る金融業者（オリコ）
http://www.orico.co.jp/school/security/info_01.html

「PayPal」をかたるフィッシングサイトは、正規の PayPal ログインサイトを装い、アカウントの登録メールアドレス、パスワードを盗み出そうとします。サイトはロシアのサーバにホスティングされていました。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

US-CERT（米政府系組織のコンピュータ緊急事態対策チーム）は、米国の連邦準備制度をかたるフィッシングメールについて警告を行いました。メールには、フィッシング詐欺の発生が報告されており、詳細情報として、PDF の脆弱性を悪用する不正な Web サイトの URL が記載されています。

関連 URL：
U.S. Federal Reserve Fraudulent Email Scam 2008/11/13 (US-CERT)
http://www.us-cert.gov/current/archive/2008/11/18/archive.html#u_s_federal_reserve_phishing
Bogus Federal Reserve Sites Deliver PDF Exploit 2008/11/13 (TrendLabs)
http://blog.trendmicro.com/bogus-federal-reserve-sites-deliver-pdf-exploit/

1.8. 総括

今月度は、新たに「ジャックス」をかたるフィッシングメールおよびサイトを確認しました。同様にクレジットカード会社をかたるものとして「オリコ」のフィッシングも確認されており、両方ともメール、サイトが非常に良く出来ているため、ログイン、パスワード等の入力を行わないよう引き続き十分な注意が必要です。

その他のフィッシングは以前から出回っている「Google Adwords」、「Enom.com」、「PayPal」、「Yahoo! オークション」などでメールの内容、サイトも同じものでした。但し、サイトのホスティング場所は変わっており、今後もホスティング場所を変えながら同様のブランドをかたるフィッシング詐欺が繰り返されることが予想されます。